

一般質問とは、町の施策等について、議員が町に考え方や意見を求めるものです。議会だよりでは、このやりとりを要約して報告します。

## 安価な「デマンド型交通」の導入を

笠原 武が問う

いつも、安くて町内どこへでも行ける「デマンドタクシー」がほしいですね。

高瀬 勉が問う

和紙の魅力で笑顔が溢れるワツシツした町になるといいなあ。

## 和紙を身近に感じる施策展開は

田中照子が問う

計画の推進には、町民への丁寧な説明が大切です。

## 公共施設等管理計画の推進を

かさばら たけし

当町は他の市町村と比べて、利用料金が高過ぎるのではないか。

Q 1週間前くらいから予約できるよう

A 0日均一くらいにできないか。

Q 100～200円

A 都市政策課長 初乗り料金500円

A は、タクシーの初乗り運賃と路線バスの運賃との中間であり、ドア-to-ドア、個別輸送型で運行する東松山市・川島町と同額で設定しました。なお運賃については、各種調査結果等を踏まえて、地域公共交通活性化協議会で議論していただきます。

Q 「予約できない」となっているが、

A 都市政策課長 デマンドタクシーを運行する事業者は、限られた乗務員・車両数の中で運行しています。予約の分で一般タクシーが専有されてしまうと、デマンドタクシーの利用者全体で見たときに不便をこうむる方が多くなることから、予約を受けつけることは考えていません。

Q 乗降ポイント97カ所は、もつと増やすべきではないか。

Q 1週間前くらいから予約できるよう

A にする必要があるのでは。

A にぎわい創出課長 小川和紙の普及宣伝と、広く町民の皆さんに向けた取り組みとして、埼玉伝統工芸会館で「小川和紙フェスティバル」の開催を予定しています。なお、当日は月曜日となりますが、実施期間を11月25日（土）から27日（月）とし、工夫を凝らしたイベントにしたいと考えています。

Q 和紙の需要増に向けて、各公共施設内での使用拡大を。

Q にぎわい創出課長 まずは、町内公共施設での利用を呼びかけ、取り組みを図っていきたいと考えます。

Q 来る12月10日に開催される第25回記念小川和紙マラソン大会。記念事業の取り組みは。

Q 生涯学習課長 まずは、ゲストランナーとして毎年協力をいただく本田技研工業と、大東文化大学の選手の皆さんに加え、市民ランナーとして有名な埼玉県庁所属の川内優輝選手にも出場いただけることになりました。次に、「第25回連続参加者表彰」と題し、選手またはボランティアとして第1回大会から連続で参加している方々を対象に、感謝状を贈ります。

Q 6月定例会で制定がかなった「小川和紙の日」。来る11月27日に向けた考えや、取り組みは。

Q 6月定例会で制定がかなった「小川和紙の日」。来る11月27日に向けた考えや、取り組みは。

Q 公共施設等管理計画では、今後、町の基金が底をつけてしまうとしている中、公共施設における改修・更新費が年間で平均7・9億円、インフラ⑥においては8億円が不足することが予測されているが、財源の見通しどとその打開策は。

Q ま使用した場合、その改修や更新経費を捻出することは困難な状況です。計画では30年後までに公共施設を40%削減することを目指しています。これに基づき公共施設の集約化や複合化及び統廃合の推進、

Q 公共施設等管理計画では、今後、町の基金が底をつけてしまうとしている中、公共施設における改修・更新費が年間で平均7・9億円、インフラ⑥においては8億円が不足することが予測されているが、財源の見通しどとその打開策は。

Q 計画推進課長 公共施設を現状のまま使用した場合、その改修や更新経費を捻出することは困難な状況です。計画では30年後までに公共施設を40%削減することを目指しています。これに基づき公共施設の集約化や複合化及び統廃合の推進、

Q ま使用した場合、その改修や更新経費を捻出することは困難な状況です。計画では30年後までに公共施設を40%削減することを目指しています。これに基づき公共施設の集約化や複合化及び統廃合の推進、

Q ま使用した場合、その改修や更新経費を捻出することは困難な状況です。計画では30年後までに公共施設を40%削減することを目指しています。これに基づき公共施設の集約化や複合化及び統廃合の推進、</p